

CASBEE[®] 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)立誠小学校跡地利用計画	階数	地上8F、地下1F
建設地	京都市中京区錦業師通河原町東入備前島町	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	600 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	飲食店,集会所,ホテル,等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年5月	評価の実施日	2018年9月28日
敷地面積	4,851.68 m ²	作成者	竹中工務店
建築面積	2,541.26 m ²	確認日	2018年10月4日
延床面積	14,928.97 m ²	確認者	竹中工務店



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	86%
③上記②以外の	86%
④上記+	86%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.5

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 4.0

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	地域のシンボルであり、地域の活動や思いの詰まった小学校を保存しつつ、ホテルを中心とした複合施設として再生することで、新たに地域住民や観光客が集う地域文化の継承・発信の基地となるように計画している。	その他 特になし
Q1 室内環境	客室室内はF☆☆☆☆の建築材料をほぼ全面的に使用し、ハイサッシで光を室内奥まで取り込んでいる。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内にできる限りの緑地を設けて良好な温熱環境に心がけている。
LR1 エネルギー	LED照明等を採用し、設備システムの効率化に配慮している。	LR3 敷地外環境 光害対策ガイドラインのチェックリストを満たしている。
Q2 サービス性能	室内は照明と内装を一体化させくつろぎのある空間としている。また、情報社会に対応し大容量ブロードバンドを設置し、室内で快適に過ごしてもらえるように配慮している。	
LR2 資源・マテリアル	ノンフロン断熱材の採用やエコ製品の採用、又既存躯体を再利用する等環境保護に努めている。ユニット部材や節水型便器を採用し、資源の有効利用に努めている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される